

2024. 3. 24

No.058

労働者の働く意欲を破壊する強制転勤に断固反対する分会声明

3月20日、東京駅派出の組合員に対して4月1日付で新幹線総合車両センターへの異動の事前通知がなされた。私たち輸送サービス労組東京新幹線車両センター分会は組合員本人からの相談を受け、本異動は本人が希望していない箇所への「強制転勤」として断罪する。

本人が変わってまず明らかにしておくが、本異動は本人は一度も希望したことがなく、自己申告書への記載、またそれに沿った個人面談においても話をしたことがない内容だ。更に、事前通知が出される前まで具体的な内容が丁寧に示されることはなく、本人もそんな状態で「まさか?!」事前通知を出してくると思わなかったほどである。

会社はこの間、社員と家族の幸福の実現を掲げ、その一環として「社員のエンゲージメントの創出」またそのために、上司と部下とのコミュニケーションの深度化を謳ってきた。「エンゲージメント」とは社員が会社に対して愛着や信頼を持っていること、そして会社と社員双方が成長し合える関係を意味する。この「エンゲージメント」を創出するためには社員本人の様々な価値観や状況、将来にわたる夢や希望を丁寧に把握し、社員の力を最大限発揮できる適切な箇所まで働く環境をつくる事が求められる。

本異動に関して、丁寧な説明は一切なされていない！聞けば「あなたの成長のため」と誰にでも言えるような理由をならべ、本人の希望を叶えるような姿勢は全く見られなかった。このような姿勢で果たして会社が掲げる「社員のエンゲージメントの創出」がしてくれるのだろうか？本人の納得感が得られないままの強行的な異動は前時代的で現代社会の潮流から著しく逸脱する行為であり、一部上場企業として極めて恥ずかしい蛮行である！

この掲示を見たすべての人に訴える！

「企業は人なり」松下電器創設者である松下幸之助氏の有名な言葉であるが、今この言葉を具体的に各企業内で実践する動きがトレンドだ。生産年齢人口の減少に伴い、優秀な人材確保をしなければ企業存続が危がまれるからだ。特に、働く者がその企業ですべて働きたいと思える環境づくりは重要であり、まさしく「社員のエンゲージメント」をいかにつくり出ししていくかが問われているのだ。

あなたは自分が予期しない、希望とは全くかけ離れた異動や担務変更などを突然言われたらどう思うだろうか？社員の働く意欲が湧き出ない環境へ置くことは、会社としてもデメリットだらけで何も良いことはない。私たちは機械ではなく、血が通った人間であり、会社をつくり成長させる主役なのだ。

本異動を他人事とせず、世界に誇れる人を大切にする JR 東日本会社をつくるために、悪辣な強制転勤に反対する声を共に上げようではないか！

以上

2024年3月23日
JR 東日本輸送サービス労働組合
東京新幹線車両センター分会

東京新幹線車両センター分会

組合員への強制転勤に対し
分会声明を発出！

本人が一切希望しない転勤は、本人の精神を破壊すると同時に、社員のやる気を奪い、働く意欲を削ぎ、企業価値をも貶めるものであり断固反対である！

会社は労働組合の破壊ばかり画策せず、
「社員のエンゲージメントの創出」に真剣に取り組むべきだ！